

発行

愛媛大学ダイバーシティ推進本部  
女性未来育成センター

〒790-8577  
愛媛県松山市文京町3番  
E-mail [hime@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:hime@stu.ehime-u.ac.jp) TEL/FAX 089-927-8602

女性未来育成センター／教育・学生支援機構ジョイント公開セミナー

## 「専門職を育てるメンタープログラムのこれから」を開催しました

平成26年2月13日(木)に女性未来育成センター／教育・学生支援機構ジョイント公開セミナーを開催しました。「専門職を育てるメンタープログラムのこれから」というテーマで、今回はメンター制度の紹介を中心に行いました。

名古屋大学より高等教育研究センターの中井俊樹准教授をお招きし、2012年メンターアワードを受賞した名古屋大学のメンタープログラムについてご紹介いただきました。メンタープログラムとは相談者(メンティ)の相談に対して相談にのる者(メンター)自身や周囲の経験話をしたり、経験に基づくアドバイスを行うことで相談者(メンティ)が自分で決断し行動できるよう支援するものです。相談にのる者(メンター)にも「昔の自分に話しかけているような気持ちになり、自分を振り返るきっかけになる」「刺激を受ける」といったメリットがあると中井先生は紹介されました。



【名古屋大学のメンタープログラムを紹介する中井准教授】



【浅野教授】

今回は愛媛大学から医学研究科医学専攻の浅野水辺教授が女性未来育成センターのメンター制度と医学部・附属病院の研究者・医療従事者への取組について、教育・学生支援機構教育企画室の清水栄子助教が教員の授業を支援する授業コンサルテーションについて紹介しました。

来場者からの質問も受け、講師の方々の理想とするメンター制度やメンター制度の現状などについてご回答いただきました。終了後は意見交換会の場を設け、忌憚なき意見を述べ合うことで親睦を深めることができました。

メンター制度についてはまだあまり周知されていませんが、今回のジョイント公開セミナーでメンター制度の成果・課題について来場者は理解を深めることができましたようです。



【清水助教】

### 【参加者の声】(一部抜粋)

「比較的長期間取り組まれてきたことについて、成果だけでなく、課題についてもオープンにしてくださったことが大変参考になりました。」  
「『名前はきいたことがあるが、内容はわからない』制度の実際のところがとてもよくわかりました。」  
「自大学の工夫がよく解り、組織の一員としてうれしく思う。」

◎女性未来育成センターのメンター制度についてはこちらをご覧ください→<http://hime.adm.ehime-u.ac.jp/career/mentor.html>

平成25年12月26日～平成26年1月7日

## 冬休み学童保育を行いました

教職員のお子さん(小学生)対象の冬休み学童保育を行いました。長期休みということで、学校の宿題はもちろんですが、スキーや凧あげ、書き初めなど冬休みならではのイベントも組み込まれた学童保育でした。ほかにも子どもたちは光宗農園に伊予柑狩りにも行き、冬の愛媛を満喫できたことと思います。今回も学生ボランティアが参加し、児童たちは楽しく過ごせたようです。

【久万高原スキー場にて】



【光宗農園にて】



若手研究者キャリア支援事業

## 優秀な人材の育成に寄与しています

平成25年度から「研究支援員制度」は「若手研究者キャリア支援事業」に名称を変更し、出産・育児期の研究時間確保のために研究支援員を配置しました。男性研究者も含み、前期11人、後期10人の利用がありました。支援員の配置を受けた研究者の中には、支援中に、各学会で論文賞や奨励賞を受賞した者が3人、国際学会に招待され講演をした者も2人など、育児期における研究活動の継続に大変、効果をあげています。

### 【利用者の声】

転出した利用者からは、「とても優秀な支援員が本当に研究の進展に寄与してくれて、ラボで引き続き雇用してもらえることになりました。優秀な研究支援員の発掘にも寄与できる制度だと思いました。」との声が届きました。センターとしても、研究支援員人材バンクを充実させ、優秀な支援員を発掘・育成していきたいと考えています。

## 学生の活動～△EGG・サイエンスひめこ～



### △EGG (さんかくエッグ) を結成しました



△EGGとは△(男女共同さんかく) E (Ehime) G (Gakusei) G (Gab; 「おしゃべり」) の略です。マスコットとして、くちばしが三角のたまごどひよこ「Gaby (ギャビイ)」(上のイラスト)を据えました。△EGGのメンバーは男女共同参画に関してはまだまだ卵ですが、性別に関わらず誰もが能力を発揮でき、多様な働き方・生き方を選択できる社会を目指して活動します。今年度は愛媛県や松山市の男女共同参画のイベントで活躍しました。

#### えひめ男女共同参画フェスティバル2013

平成25年12月7日に愛媛県男女共同参画センターにて開催された「えひめ男女共同参画フェスティバル」では男性の視点から男女共同参画を捉えることをテーマに、「男女のパートナーシップを考えると男だってワークライフバランス」を開催しました。このイベントでは4名の男性がワークライフバランスについて自分の生き方や仕事を通して思うことを本音で語る座談会や、お互いに補い合うという男女のパートナーシップについて考えてもらおうとボールルームダンスのデモンストレーションとワークショップを行いました。最後は松山市近郊の学生約3000名から回答を得た「男女の役割意識調査」について△EGGの学生が発表を行いました。発表の中では来場された方にその場で男女の役割について答えてもらったり、学生の意識調査の結果に対する意見をいただいたりと充実したものになりました。



【△EGGの学生による「男女の役割意識調査」の結果発表の様子】

#### 第15回コムズフェスティバル市民企画分科会

平成26年1月25日にコムズ(松山市男女共同参画推進センター)主催の「第15回コムズフェスティバル」の市民企画分科会にて「先輩に聞く！女子の生き方～働き続けるには工夫が必要?～」を開催しました。



【座談会のコーディネーターも△EGGの学生が行いました】

このイベントは第1部でこれから就職する女子学生に向け、結婚・出産・育児を経験している4名の女性が自分の経験やアドバイスをスライドで紹介、第2部では4名の女性が△EGGの女子学生や来場者の質問に答える座談会を行いました。

今回講師としてお招きした4名の女性は仕事や経験がそれぞれ全く異なり、働き方は人によって本当に様々だということを感じていただけだと思います。結婚・出産・育児の経験はそれぞれによって自分や周囲を変え、自分の成長の糧とすることができると、働く女性の気持ちを明るくするイベントでした。



【最後に集合写真を撮りました】

#### 【参加者の声】(一部抜粋)

「いま社会人3年目で、今後の自分のキャリア形成にすごく迷っている時だったので、今回の講演で様々な考え方・生き方を知ることができてとてもタメになりました！！」

「妊娠・出産を通して、素晴らしい人生を生きられている方々のお話を聞いて、これから女性の能力が活かされる社会になれば、もっと素敵な社会になるのだろうと希望が持てました。」

#### 【参加者の声】(一部抜粋)

「学生による調査結果報告で、会場の聴衆も参加できたことがとてもよかった。」(30代女性)

「まずプロのダンスに感激しました。みんなで踊るのは、非常に楽しかったです。今を大切に生きたい。」(60代以上 男性)

◎「男女の役割意識調査」の結果はHPIに掲載しています。

→<http://hime.adm.ehime-u.ac.jp/link/gakunai.html>

「平成25年度 男女の役割に関するアンケート調査の結果」

### ひめこ活動報告☆サイエンスひめこの活動リケジョ就活カフェ

平成25年11月28日、就活を終えたばかりの「サイエンスひめこ」が、これから就活を迎える理系女子に自身の就活体験やアドバイスを話す「リケジョ就活カフェ」を開催しました。

第1部は7名の「サイエンスひめこ」がスライドを使って自身の就活のスケジュールや、やっておいて良かったこと、困ったこと、面接で聞かれたことなどを披露しました。第2部は座談会で、後輩のリケジョからの質問に答えました。「就活でストレスがたまった時の対処法は?」「実際就活にはどれくらいお金がかかりますか?」など、ここでしか聞けないリアルな就活を後輩リケジョに伝えることができました。

今回はキャリアコンサルタントの石井先生をお招きし、面接で女子が聞かれる困った質問への対処についても聞くことができました。

#### 【参加者の声】(一部抜粋)

「月ごとに何をしたら(エントリーシートや説明会や面接)を詳しく知ることができたので参考にします。何をすれば良いかや、アドバイスが聞けて良かったです。」

「面接の内容など知りたかったことが聞けて良かった。」



【質問に対して丁寧にありのままを答える先輩ひめこ】



【今の不安や疑問を先輩に投げかける参加したリケジョ】

